

志 児童生徒の見守りに 布志地区防犯協会が防犯グッズを寄贈

志布志地区防犯協会から、小・中学校に防犯グッズが寄贈され、10月11日（月）、寄贈式が行われました。

見守りの強化を図ることを目的としており、学校やPTAでの防犯活動に役立ててほしいと、自動車につける「見守りパトロール中」と記載されたマグネットシートと、活動時に着用する防犯活動蛍光ベストが寄贈されました。

藤井教育長は「寄贈いただいた防犯グッズを活用し、地域全体で大崎町の児童生徒を見守っていきたい」と話しました。



町 町政報告・町長講話 の取組みを説明しました

10月8日（金）、中央公民館で開催された民生委員・児童委員定例会において、東町長が町の取組みを報告しました。

また10月10日（日）には、「仮宿下いきいきサロン」で町長講話や意見交換会が開かれました。

東町長はリサイクルやSDGsへの取組み、ふるさと納税、10月に全町民に配布した「リサイクルありがとう地域応援商品券」、新型コロナワクチン接種状況などについて説明を行いました。



子 OACから新米の寄付 子ども食堂のお弁当で使用しました

10月8日（金）、OAC（大崎町農業青年クラブ）が、町内の『のがた子ども食堂』と『子ども食堂いちごちゃん』にそれぞれ新米2俵の寄付を行いました。

これは子どもたちへの食育に繋げることを目的に、青年農業者が生産した新米を子ども食堂に寄付したものです。

子ども食堂では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お弁当配布に切り替えており、9日（土）、新米を使ったお弁当が配布されました。

村岡康代さんは「子どもだけでも行くことができるので、ありがたい。毎月利用している。家庭の味で美味しい」と話されました。

